



新潟県糸魚川市
田沢地区

地域づくりプラン

田沢まちづくりの会
たざわの輪

TAZAWA

ごあいさつ

日頃、田沢地区公民館事業にご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

平成28年度に田沢地区の地域づくりを盛り上げるため、「田沢地区地域づくりプラン」策定の検討を始めました。

系魚川市企画定住課、NPO法人まちづくり学校（金子洋二氏）のご指導を仰ぎながら方向性を探り、平成30年1月に第1回目の「田沢地区懇談会」が開催され、プランの内容を検討しはじめました。以後毎月1回のペースで地区懇談会を開催し、田沢地区公民館管理運営委員会にて「田沢地区地域づくりプラン」の骨子をまとめてきました。平成31年3月、11回目の地区懇談会で、プランの内容を出席者に説明しました。

その結果、**田海神楽・須沢どんと焼き事業**をベースとした**交流促進部会**、**田沢三景（水芭蕉・田海ヶ池・ジオトープ）**等の**田沢の名所や施設の有効活用**をベースとした**資源活用部会**、**安心まちづくり・防災教育事業**をベースとした**環境整備部会**と3つの部会からなる田沢まちづくりの会「たざわの輪」を立ち上げ、「田沢地区地域づくりプラン」の実現を目指すことが決定されました。

地域の皆様の更なるご支援・ご協力をお願いして、田沢まちづくりの会「たざわの輪」の設立のご挨拶といたします。

田沢まちづくりの会 たざわの輪 会長 堀田岩吉（田沢地区公民館長）



こうしてプランをつくってきました！

地域づくりプラン策定の経緯

田沢地区では、地区内5つの地域（須沢・今村新田・ハ久保・田海・高畑）の公民館支館を核として、住民主体の地域づくりが活発に行われてきました。そうした地域ごとの連携の強化と、田沢地区全体での地域づくりを推進する機運の高まりを受け、2018年1月から11回の地区懇談会を経て、本プランが策定されました。

第1回

地域づくりの目的を共有しよう

第2回

田沢地区の地域資源を発掘しよう
→地域の資源と課題をリストアップ

第3回

田沢地区の5年後を大予測
→3つの好ましい未来像に集約

第4回

まちづくりのアイデア大会
→未来像の実現へ向けてアイデアを出し合う

第5回

アイデアの絞り込み
→出てきたアイデアをグループごとに絞り込む

第6回

アイデアの実現に向けて①

第7回

アイデアの実現に向けて②

第8回

アイデアの実現に向けて③

第9回

アイデアの実現に向けて④

第10回

アイデアの実現に向けて⑤

第11回

地域づくりプランの内容を最終確認

田沢地区
名所めぐり
モデルツアー
（現地調査）
を実施！

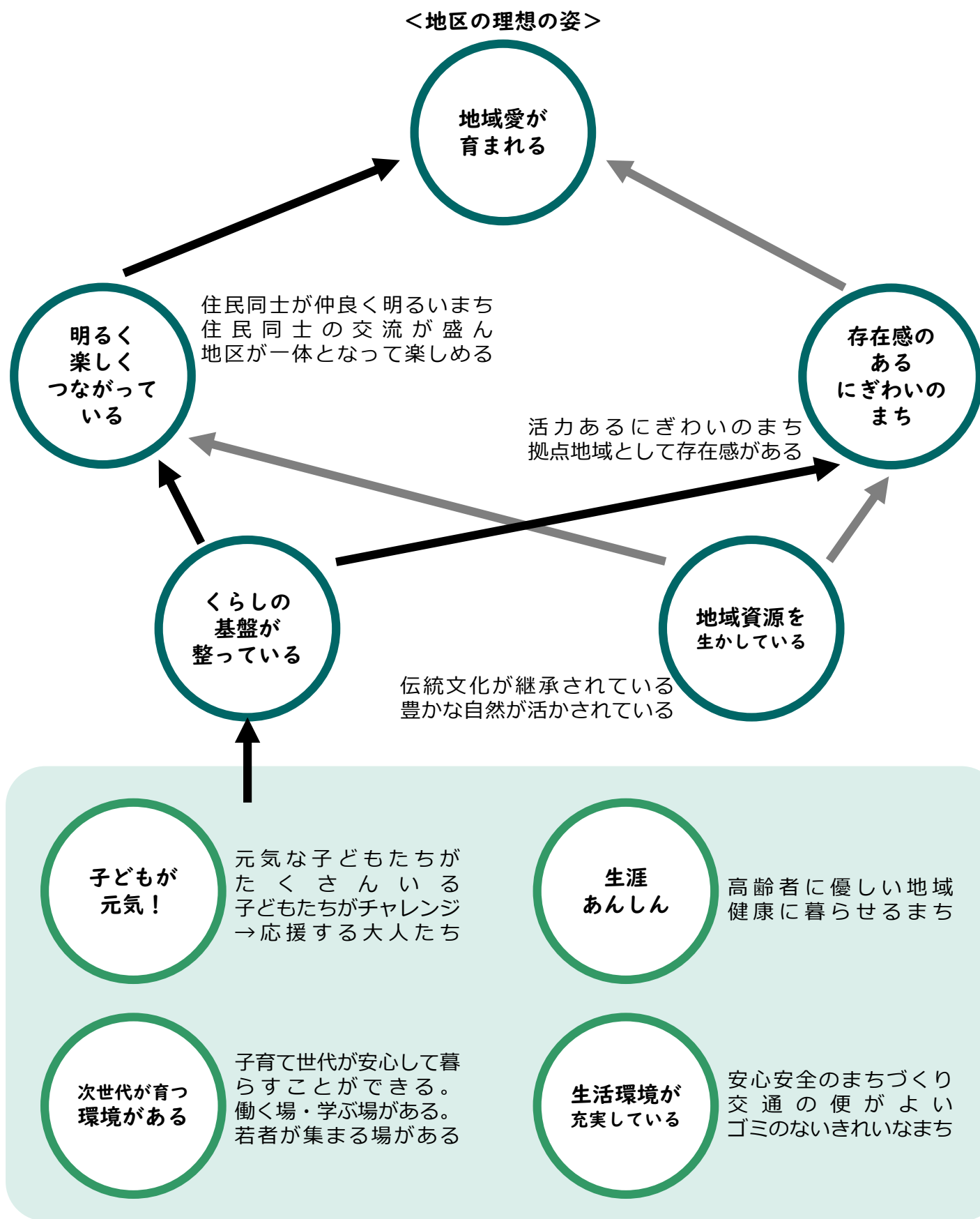
地区公民館
管理運営委員会で
地域づくりプラン
の内容を確認！

3つの部会にわかれて
事業内容を具体的に検討！

こんな田沢になったらいいな！

田沢地区地域づくりの理念

人がつながり、まちがにぎわい、“愛”が育つまち田沢



田沢地区の現状

田沢地区では少子高齢化と若年層の流出が進んでおり、2019年4月の時点で高齢化率は38.6%、全人口に占める生産年齢人口（15歳～64歳）の割合は51.1%となっています。これは糸魚川市全体の平均とほぼ同じ水準ですが、新潟県の平均（高齢化率31.8%、生産年齢人口割合56.2%）と比較すると大きく進行しています。

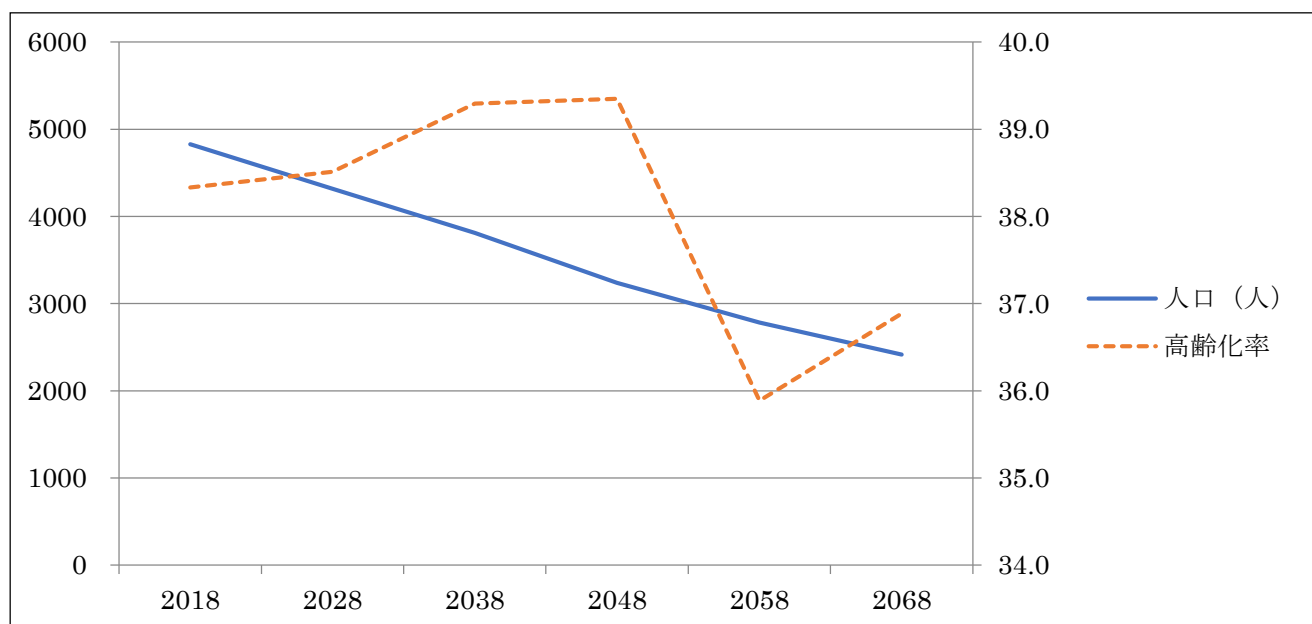
その背景には、出生率の低下や、若者の流出など様々な要因があると思われますが、このまま推移していくと40年後には人口が半減し、まちの活力が失われていくことが危惧されます。

人口：4,760人
面積：6,329km²（田沢小学校区）

	人 口 (人)	高齢化率 (%)	生産年齢人口割合 (%)
須沢	2,236	34.8	54.8
今村新田	263	35.7	49.8
ハ久保	926	40.7	50.0
高畑	424	39.4	49.5
田海	911	46.5	44.3
計	4,760	38.6	51.1

2019年4月1日現在

将来人口推計グラフ



※2018年の人口は2月1日現在の統計データを基に作成
 ※平均生存率は平成28年度厚生労働省簡易生命表を適用
 ※15歳～39歳の10年あたり社会増減が0人であると仮定
 ※15歳～49歳期間合計特殊出生率を1.4%とする

ここを伸ばしていきたい！

田沢地区の良いところ/資源

> 施設やインフラが充実している

- ☐ 海沿いに遊べる施設や大きい公園がある
- ☐ ちゃんと整備された公園がいっぱいある
- ☐ はびねすがある
- ☐ 温水プール、パターゴルフ場、オートキャンプ場がある
- ☐ 高架下施設がある（ピアタウン）
- ☐ 学校・幼稚園の施設・設備が充実している
- ☐ 地区内の幹線（青海通線）が整備されている
- ☐ 都市計画が確立している

> 人柄が都会的で落ち着いている

- ☐ 都会的で落ち着いている
- ☐ 温厚な人柄の人間が多い
- ☐ 決まった事を守り規律正しい
- ☐ 地縁など人間関係のしがらみが少ない

> 子どもが多い

- ☐ （他地区と比べて）子どもたちが多い
- ☐ この地域づくりの集まりに高校生が来ている
- ☐ 田沢小学校でCS事業がスタート

> 伝統行事が継承されている

- ☐ 神楽、相撲、どんど焼き、ヨーホイ、甚句
- ☐ おうみ祭り（会場が良く花火も見れる）

> 適度な田舎で暮らしやすい

- ☐ 地元好きが多い
- ☐ ご近所づき合いがある
- ☐ 都会っぽくなくて子供達を遊ばせるのが安心
- ☐ 元気な年寄が多い
- ☐ 居住面積が広い
- ☐ 人の多さが丁度良い
- ☐ 静かで過ごしやすい
- ☐ 都会と比べ渋滞が少ない

> 豊かな自然の恵みと名所がある

- ☐ 海・山・川などの自然が豊かで美しい
- ☐ 自然を生かした遊び（釣り、キャンプ）ができる
- ☐ 海の幸・山の幸が美味しい（魚・水・山菜）
- ☐ 高畑のマイコミ平
- ☐ 田海ヶ池（トンボの池）
- ☐ 須沢の水芭蕉
- ☐ ヒスイ海岸

> 企業が多い

- ☐ デンカの工場群
- ☐ 工場・職場があり人が集まってくる
- ☐ コンビニや飲食店が近くにある

> その他

- ☐ 地域の活動が活発である
- ☐ 高齢者等の地域での見守りが行われている
- ☐ アイディアを持っている人がいる

ここを解決していきたい！

田沢地区の気になるところ/課題

> 環境が悪化している

- ☐ 田海ヶ池が荒れている（トンボの激減）
- ☐ 動植物・在来種の減、外来種の増
- ☐ 山が荒れている（里山がなくなりつつある）
- ☐ 農林水産業が衰退している

> 子どもや若者の居場所が少ない

- ☐ 若者向けの場所（買い物や遊び場、たまる場所）がない
- ☐ ワクワクするようなコトがすくない
- ☐ 地元に残る若者が減ってきている
- ☐ 賃金が安く、魅力ある職がない
- ☐ 公園で遊ぶ子どもが少なくなった

> お店や飲み屋が少ない

- ☐ スーパーや商店が少なく買い物が不便
- ☐ 本・靴・服屋が無い
- ☐ 若い人が行きたくなるようなオシャレなお店がない
- ☐ 飲み屋が少ない
- ☐ この地域は物価が高い

> 交通の便が悪い

- ☐ 公共交通が少ない
- ☐ 電車、新幹線との接続が悪い
- ☐ お年寄りの交通の便が悪い
- ☐ 高校生の通学が不便

> 交流の機会が少ない

- ☐ 田沢地区としての一体感が欠ける
- ☐ 地域間交流が少ない
- ☐ 地域資源を活かしたイベントが無い
- ☐ 体育系の事業が減少（運動会、少年野球など）

> 住民同士のつながりが薄い

- ☐ 隣近所同士の付き合いが薄い
- ☐ 地域や地域行事への関心が薄い
- ☐ 地区のイベントが少なく、住民が集まる機会が少ない
- ☐ 受け身で積極性がない

> 少子高齢化が進んでいる

- ☐ 人口が高齢化している
- ☐ 高齢化で困っている世帯が大変多くなっている
- ☐ 空き家が目立つ

> その他

- ☐ 医療機関が少ない
- ☐ 夜になると暗くて怖い
- ☐ 観光地がない
- ☐ 海岸来客のゴミが多い
- ☐ 津波の心配がある
- ☐ 除雪が大変
- ☐ 国道を通り過ぎてしまう（田沢地区の名所のPR不足）
- ☐ 線路でまちが分断されている

こんな田沢の未来をめざそう！

田沢地区の望ましい未来像

▶ 住民同士の交流が促進されている

▶ 伝統行事が守られ、進化している

▶ 田沢地区全体のイベントができている

▶ 子どもや若者の居場所があり、地域のために活躍している

▶ 自然を生かして新たな人の動きを生み出している

▶ 既存の施設が上手に活用されている

▶ 新たなビジネスが生まれ、にぎわいが増している

▶ 人口・世帯数が増えている

▶ 公共交通の便が向上している

▶ 地区内の医療・福祉サービスが改善されている

▶ 災害に強い地域づくりが進んでいる

地域行事が進化し、住民同士の交流や子ども・若者の参画が促進されている

田沢の名所や施設が有効に活用され、新しい産業と人の動きが生まれている

人口減少に歯止めがかかり、交通の利便性や安心して暮らせる環境が向上している

こんな田沢はできれば避けたい！

田沢地区の心配な未来像

▶ 空き家が増加している

▶ 買い物の便が悪くなっている

▶ 住宅地まで山の獣が出るようになる

▶ 少子高齢化が進み、一人暮らし世帯が増えている

▶ 核となるものがなく、地域をPRできないでいる

＼みんなで話し合い、アイデアを出し合いました／

たざわの輪ではこんな活動に取り組みます！

未来像を実現させるための方策

田海神楽事業

田海区の伝統芸能「田海神楽」を
田沢地区全体で盛り立て、担い手の育成をすすめる！

どんど焼き事業

須沢区の地域行事「どんど焼き」を
田沢地区全体で実施し、地域住民の交流の場とする！

田沢三景事業

田沢地区が誇る豊かな自然景観を整備し、
その魅力を発信するとともに、体験ツアーを実施する！

安心まちづくり事業

住民ニーズ調査に基づき街灯の整備を進め、
夜も明るく安心なまちづくりを行う！

防災教育事業

日頃の備えや避難場所、自助・共助の必要性などを
啓発し、ともに考える場をつくる！

その他

田沢小学校・青海中学校のCS（コミュニティ・スクール）事業と
連携し、子どもたちへの郷土教育を行う！

上記事業によりすべての未来像の実現へと直結するわけではないが、実現可能性の高いところから進めていき、目的とする未来像に近づくために事業を拡充していくこととする。

田海神楽事業



事業目的

田海神楽の後継者を育成することにより、地域行事の担い手の高齢化に歯止めをかけ、田沢全体の郷土の財産とする。

事業概要

- 1) 継承に必要な備品及びソフト面の整備（譜面及びビデオ等の作成）
- 2) 中高生の勧誘と指導
- 3) 公演機会の増加

成果目標

- 1) 会員数を40名に（現状26名）、平均年齢を50歳に（現状65歳）
- 2) 備品の更新・整備並びに、譜面及びビデオ等の作成
- 3) 年間5回程度の公演（現状2回）
- 4) スポンサーの確保

対象

（担い手）田沢地区住民（小学生・中学生・高校生を含む）
（鑑賞）田沢地区住民

単位：千円

収支計画

年度 項目	2020	2021	2022	2023	2024	備考
公演費用	300	400	500	500	500	3～5回分
譜面作成	50	50	60			協力者謝礼 印刷費等
ビデオ制作		50	50	50	200	委託費・メディア 製作費等
老朽資機材 更新		300	300	300	300	
計	350	800	910	850	1,000	

どんど焼き事業



> 事業目的

須沢のどんど焼きを田沢地区全体で行うことにより、地区住民同士の交流の場をつくる。

> 事業概要

田沢地区5支館合同のどんど焼きを行う。

> 成果目標

参加者1,000名(現状500名)
開催準備から当日運営までを5支館の住民が共同で担い、住民同士の交流・懇談の場をつくる。

> 対 象

須沢、今村新田、ハ久保、田海、高畑の5支館全域の住民

単位：千円

> 収支計画

年度 項目	2020	2021	2022	2023	2024	備 考
振る舞い品	200	200	200	200	200	
その他	100	100	100	100	100	
酒	40	40	40	40	40	
計	340	340	340	340	340	



田沢三景事業



事業目的

田沢の名所や施設を有効に活用し、資源の保護と新しい人の動きを生み出す。

事業概要

- 1) 田沢三景（水芭蕉、田海ヶ池、ジオトープ）の現地調査
- 2) 環境整備
- 3) 田沢三景めぐりツアー（2～3年後に「5景」に）
- 4) 学習会の開催

成果目標

- ・地域住民に田沢三景が周知されるとともに、地域外住民にも発信されている
- ・現地調査を行い、ツアーのプログラムを作成
- ・遊歩道の整備
- ・パンフレット作製
- ・ツアーの実施（年3回）、学習会の実施（年2回）

対象

地域住民および田沢地区に関心を持つ地域外住民

単位：千円

収支計画

項目 \ 年度	2020	2021	2022	2023	2024	備考
現地調査	50					日当
環境整備 計画策定	30					日当
環境整備	60	860	1060	60	60	資材費/日当/委託費
パンフレット 作成		150				デザイン/印刷費
田沢三景ツ アー	60	60	100	100	100	ガイド日当/資料代
学習会	20	20	20	20	20	講師謝礼/資料代
計	220	1,090	1,180	180	180	

安心まちづくり事業

> 事業目的

夜間も安心して歩ける環境を整え、「明るいまち田沢」のイメージを定着させる。

> 事業概要

地区内電灯設置状況の調査と、まちづくりのテーマを意識したLED電灯整備計画の作成・実施

> 成果目標

- ・住民アンケートを実施し、現状の把握とまちづくりテーマの設定を行う
- ・アンケート結果に基づいた整備計画を作成する
- ・整備計画に基づき「〇〇」（例：通学児童、高齢者、災害時の避難、ランナー等）にとって明るい道ができています

> 対 象

地区住民および地区内を通行する人々

単位：千円

> 収支計画

年度 項目	2020	2021	2022	2023	2024	備 考
アンケート調査	200					印刷費・委託費
街灯整備計画書	200					日当
街灯整備						別途補助金申請
計	400	0	0	0	0	

防災教育事業

> 事業目的

災害時の行動について考える機会を提供し、住民の当事者意識を育むことで災害に強いまちをつくる。

> 事業概要

- ・防災勉強会（1次避難、2次避難、3次避難の正しい理解）
- ・世帯から班単位、支館単位と、小さな範囲から大きな範囲へと展開
- ・啓発用看板づくり（標語・キャッチコピーを子どもと一緒に考える）
- ・田沢地区避難マップの作成

> 成果目標

- ・防災勉強会の開催（年2～3回）
- ・啓発用看板の製作と設置
- ・田沢地区避難マップの作成と配布
- ・公助だけに頼らず、住民一人ひとりが自分で自分の身を守る方法を理解し、行動できるようになっている。



> 対 象

田沢地区住民

単位：千円

> 収支計画

年度 項目	2020	2021	2022	2023	2024	備 考
防災勉強会	100	100	100	100	100	講師謝礼・資料代
啓発用看板制作				500		
避難マップ作成					300	
計	100	100	100	600	400	12

自立した活動をめざして

5か年収支計画

【収入】

単位：千円

項目 \ 年度	2020	2021	2022	2023	2024
地域づくり補助金	870	1,590	1,610	1,050	1,000
自主財源	540	740	920	920	920
合 計	1,410	2,330	2,530	1,970	1,920

【財源内訳】

単位：千円

田海神楽（補助）	50	400	410	350	500
（自主）	300	400	500	500	500
どんど焼き（補助）	100	100	100	100	100
（自主）	240	240	240	240	240
田沢三景（補助）	220	990	1,000	0	0
（自主）	0	100	180	180	180
安心まちづくり（補助）	400	0	0	0	0
（自主）	0	0	0	0	0
防災教育（補助）	100	100	100	600	400
（自主）	0	0	0	0	0

＊アルミ缶回収や、地区内企業への賛助会員募集などによって自主財源を確保していく

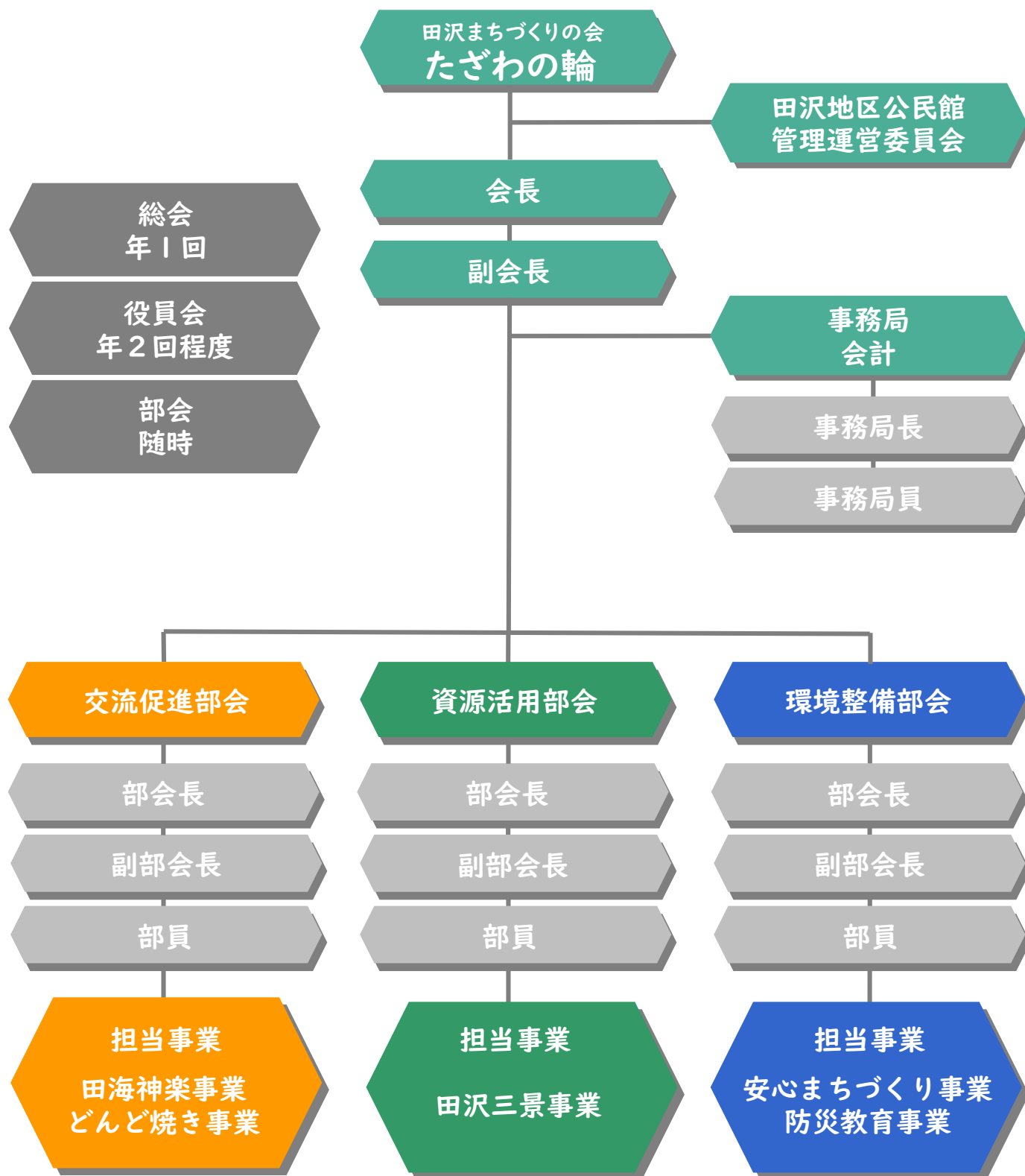
【支出】

単位：千円

項目 \ 年度	2020	2021	2022	2023	2024
田海神楽事業	350	800	910	850	1,000
どんど焼き事業	340	340	340	340	340
田沢三景事業	220	1,090	1,180	180	180
安心まちづくり事業	400	0	0	0	0
防災教育事業	100	100	100	600	400
合 計	1,410	2,330	2,530	1,970	1,920

こんな体制で活動します！

田沢まちづくりの会 たざわの輪 組織図



各支館は田沢まちづくりの会たざわの輪に対してマンパワーを提供するとともに、連携して事業の実施にあたる。



たざわの輪!

重なる5つの輪は田沢5支館を表現しています。5支館が連携しながら活動していきます。